

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝ 1月の行事計画＝

- | | |
|---------------|-------------|
| 1日（日）元旦 おせち料理 | 24日（火）2階理美容 |
| 7日（土）七草がゆ | 27日（金）選択食 |
| 9日（月）誕生会 | 31日（火）3階理美容 |
| 13日（金）選択食 | 青梅療育院神社初詣 |
| 20日（金）寿司の日 | だるま市 |



＝ 2月の行事計画＝

- | | |
|-------------|-------------|
| 3日（金）節分豆まき | 24日（金）選択食 |
| 6日（月）誕生会 | 28日（火）3階理美容 |
| 10日（金）選択食 | |
| 17日（金）寿司の日 | |
| 21日（火）2階理美容 | |



＝新型コロナウイルス感染予防対策と事業運営＝

3年間も続いている新型コロナの感染拡大によって、市民生活や経済にも深刻な世相のなかで令和5年を迎えました。利用者の皆様には長い間外出の規制によって、計画してきた施設外活動も実施できない状態が続いており、さらに第8波の感染が心配される状況から、当分はこのような状態が続くのかと心配されます。

利用者様の行動は常に一定ではなく、1日の生活の中で起床時における動作に緩慢な時間帯があり、夕方には能力が低下するために再び行動力が緩慢になる傾向が表れると言われていています。

施設内でコロナ感染者が発生した場合、多床室であるために個々の行動規制が困難であり、急速に院内感染が高まる危険性を抱えています。また、高齢者の体調は突然に変化することが多く見られ、普段あまり体調を崩さない方でも思いがけない症状が突然起こることがあります。その場合には看護職員や医師の診断が必要となる場合もありますので、職員の先入観だけで判断することによって、大きな過失を招くことにもなりますので、適切なチームプレーによって早期の対応を図るよう徹底していくようにしています。

一方で急激な諸物価の高騰によって、施設の事業運営にも食材費や電気料等に予算過剰の影響が出てきておりますが、このような経済変動に伴う国や東京都からの経費の増額支援がないために、予算の範囲内において工夫を重ねながら、職員全体で今まで以上に切磋琢磨して、利用者の皆様が安心して過ごせるよう一層の努力を重ねていく必要が求められております。

利用者様への介護サービスの内容も時代の変化とともに、大きく質の向上が求められるようになってきていますので、常に利用者様の立場に立った生活の支援が、より適切に安全な介護システムによって確立していくことが義務付けられています。

介護は人間どうしの関わり合いですから、お互いに心が通じ合う信頼関係が大切であり、納得のいく支援を実行していくことが必要です。そのためには常に職員が総力を結集して、より一層の努力を傾注していくよう心掛けていくことに致します。

ご家族の皆様には本年も当施設の事業運営に際し、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

クリスマスイルミネーション



いよいよクリスマスがやってきます。
今年も1階の食堂へ続く長い廊下がクリスマスイルミネーションで飾り付けられました！！



クリスマス忘年会！！

イルミネーションでクリスマス気分が上がったあとは“クリスマス忘年会！！”
栄養課特製のスペシャルクリスマスメニューや職員による楽器演奏！！
今年沖縄出身の職員が三線を弾いてくれました。
ハンドベルもクリスマス気分を盛り上げてくれました(^.^)



Merry Christmas!

